



## オンライン併用の減災ワークショップ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、様々な催事やイベントが開催困難となっていますが、防災訓練も同様です。昨今ではインターネットを利用したオンラインイベントが各所で開催されるようになり、オンラインによる遠隔、密にならない人数での開催と併用することで、参加の選択肢が広がることもみえてきました。便利なツールを使い、工夫しながら、災害への備えを止めないようになりたいものです。

### オンラインと併用の良いところ

- ・新型コロナウイルスなどの感染リスクを回避できる。
- ・防災ワークショップ、訓練当日に参加できなくても後日映像で学ぶことができる。

### テレビ、WEB会議ツールの活用例

zoom、Microsoft Teams、Skypeなどがあります。ここではzoomを例に説明します。スライドを共有できたり、会議の様子を録音、録画できたり、遠隔でも双方向のやりとりができて便利です。



## zoom

### 用意するもの

- ・インターネット回線
- ・ホスト(主催)はパソコンを用意
- ・「Zoom」を契約



「Zoom」には、無料版(基本)と有料版(プロ)があります。無料版は、40分までしか使えないので、本格利用には有料版がオススメです。登録には、クレジットカードかPayPal決済が必要です。

### ライブ配信の活用例

大々的に広く募集をかけ、大勢の日が視聴、参加する中継番組形式にはYouTubeやVimeoなどのツールがあります。ここではYouTubeを例に説明します。テレビ会議ツールのように双方向のやりとれはできませんが、視聴はチャットにより配信元にコメントをリアルタイムで送ることができます。



## YouTube

### 用意するもの

- ・安定したインターネット回線(できれば有線LAN)
- ・配信用パソコン
- ・HDカメラ

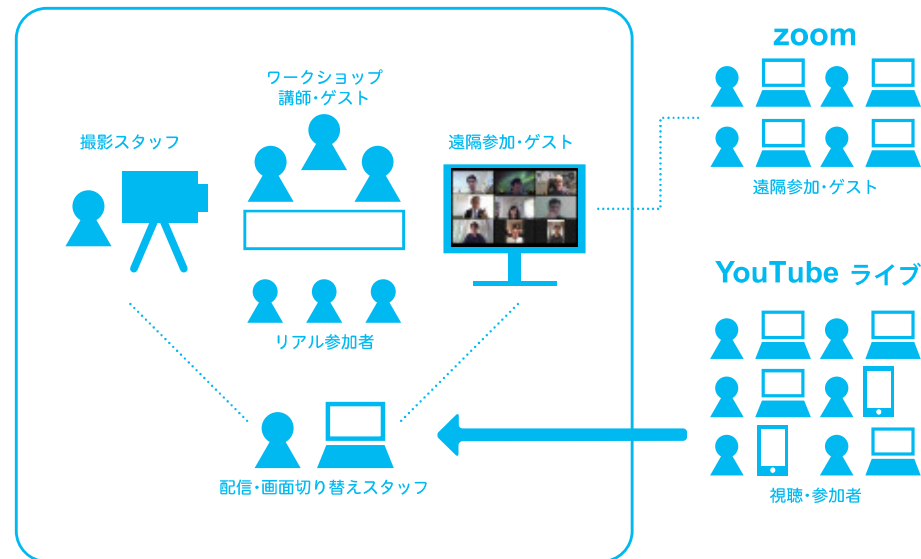


### 配信流れ

- ・YouTubeチャンネルを開設する
- ・YouTube Studioで「ライブストリーミング」を有効化する
- ・ビデオアイコンから「ライブ配信を開始」をクリック
- ・詳細情報を入力し、再度「ライブ配信を開始」をクリック

### 上級編

zoomとYouTubeを組み合わせることにより双方向でのワークショップを大勢の人が視聴でき、アーカイブに残すことも可能になります。昨今では映像制作業者が配信を請け負うケースも増えています。従来の防災訓練のようにブースや機材にかかっていた費用を配信費用に回して、開催を検討してはいかがでしょうか？



### 川崎市自主防災組織活動助成金制度について

区役所に届出をしている自主防災組織は、防災訓練や啓発活動を実施した場合、助成金の交付を受けることができます。詳しくは高津区の危機管理担当にお問い合わせください。

### 1回の活動に交付できる金額(20人以上が対象)



訓練実施: 12,000円～40,000円

啓発活動: 3,000円～10,000円

訓練と啓発活動: 15,000円～50,000円

川崎市 防災訓練 補助金